

鉄道車両の輪軸組立作業における点検結果について

関東運輸局からの鉄道車両における輪軸の緊急点検に関する指示に基づく当社の点検結果をご報告いたします。

1. 点検の対象輪軸

約 4,800 軸 (約 1,200 両)

※山口線 (レオライナー) を除く

2. 点検内容

- (1) 車軸に車輪等を圧入した際の圧入力値の記録の差し替え等の不備の有無
- (2) 圧入力値が社内規定等から逸脱している等の不適切な事案の有無

3. 点検結果

- (1) 車軸に車輪等を圧入した際の圧入力値の記録は装置によって自動で記録され、修正できない仕組みとなっており、記録値の差し替え、改ざん等はありません。
- (2) 圧入力値に関する取扱いにおいて、社内規定等を逸脱する事案はありません。
しかし圧入力値について、当社で作業上目安として設定した標準値を上回る輪軸は 354 軸 (219 両) でした。

4. 安全性に対する見解

- ・ 圧入作業をする際、圧入力状況を示す曲線に異常が認められないことを確認し、その結果は装置によって自動記録されています。
- ・ 輪軸の組立作業において、圧入力値が標準値の 90%~100%未満である輪軸においては、日本産業規格 (JIS E4504) に準拠し検圧作業を実施しています。なお、標準値の 90%未満にあたる輪軸はありません。
- ・ すべての輪軸において組立時に超音波探傷試験を実施し、輪軸に損傷等がないことを確認しています。また、組立後においても、3 か月に 1 回の定期検査でバックゲージ (車輪間隔) の測定等を行い、異常がないことを確認しているほか、定期的に超音波探傷試験を実施しています。
- ・ 以上のことから、安全性に問題がないことを確認しています。

5. 今後の対応

関係省庁等から本件に関する見解や指示があった場合には、内容を確認のうえ、適宜対応してまいります。

以上